

【地域課題の抽出】

別紙 3

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
01	令和6年10月4日		楠葉 樟葉南 樟葉北	情報の共有 交流 活動の場	・コロナで休止していた活動が本格的に再開してきているが参加者が思うように増えない。 ・災害時の備え等、居場所同士の横のつながりが必要。	圏域内の居場所が集まり、情報交換をできる場をつくり、今後の在り方などについて検討していく。	他の高齢者居場所の活動状況等をお互いの情報を共有しあうことで、活動者の意欲の向上と活動内容のヒントが得られる。	第2層協議体で取組み			
01	令和7年4月10日		楠葉 樟葉北 樟葉南	情報の共有 交流 活動の場	・高齢者居場所について参加者が減少傾向にある。まだまだ住民に周知されていない。 ・災害時の備え等、居場所同士の横のつながりが必要。	圏域内の居場所が集まり、情報交換をできる場を作り連携を深める。また、共通する課題について検討していく。	圏域内の高齢者居場所で情報共有することで、利用者に他の場所を案内するなど周知できる。また、課題解決に向けて広い範囲で取り組める。	第2層協議体で取組み			
01	令和7年4月10日		楠葉 樟葉北 樟葉南	その他 （社会資源）	外出時に高齢者が休めるいすやベンチが少ない。	圏域内で取り組んでいる「いすプロジェクト」を進行し、事業所や商店などに、協力の依頼をおこなう。	高齢者も外出しやすい環境ができる。また、プロジェクトを周知することで、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの理解が深まる。	第2層協議体で検討			
01	令和7年4月10日		樟葉北	活動の場	新しい活動に取り組んでいるが、参加者が少ない。元気づくり・地域づくりの活動が浸透していない。	チラシや広報誌を通じて、地域での活動や元気づくり・地域づくりの活動を報告できる機会を増やす。	地域活動が住民に浸透し、理解を深めることで、活動に関心を持つ人が増える。	第2層協議体で検討			
02	令和5年10月10日		樟葉西	情報の共有	コロナ禍をきっかけに、地域活動が止まっているところや、内容を変更しているところがある。	各自治会や地域の活動者が中心となり、地域で他者との交流を求めている人に、身近な活動場所を紹介することで、地域活動に参加するきっかけにつながる。	閉じこもり傾向にある人や、他者との交流を求めている人が地域活動に参加するきっかけになる。	第2層協議体で取組み			
02	令和6年4月10日		樟葉西	情報の共有	高齢者が外出するときに杖や歩行器を使うことに抵抗を感じている人がいるが、休憩をする場所がなく、立ったまま休んでいたたり、他人の家の石垣に座って休憩している人がおり危険。	休憩できるよう椅子を置くプロジェクトを枚方市内ですすめており、活動の紹介をし、協力を依頼する。	いすプロジェクトの活動を知ってもらい、協力できる事業所に少しずつでも活動を広げていくことで、いすプロジェクトについて理解者を増やす。	第2層協議体で取組み			
02	令和7年4月10日		樟葉西	情報の共有	災害時に備えて、高齢者や小学生、中学生をはじめとした地域住民が防災に関する知識を身に着けるための取り組みが必要。	生活支援コーディネーターより、防災の知識を楽しく身に着けるため「防災運動会」の開催を検討していきたい。委員会を設置し、来年度第2層協議体で準備報告をする。	災害・防災については地域住民、事業者全体の共通課題であり、自主防災の意識向上につながる。	第2層協議体で検討			
02	令和7年4月10日	令和6年10月9日	牧野	情報の共有	体操や運動する場所が少ない。高齢者が参加している活動に「ひらかた元気くらわんか体操」を実施し、健康を増進し転倒予防を図る。	・「福祉委員会で開催している歌体操 第1金曜日10:30～に包括からCD・DVDを借りてひらかた体操ができないか。」と校区からの提案。9月6日10:30アスティでスタートを考えていきたい。福祉委員会から了承あり開始前に包括が前に出て体操をお願いしたいとのこと。PCとテレビあり。DVDを使用してほしい。 ・9月6日10:30アスティでスタートしている。現在は包括が前に出て体操をしているが、参加者が主体となって実施できるようDVDを活用するよう提案する。	・9月からスタートし、アスティと牧野北集会所で実施。スタッフ、参加者にひらかた体操の周知を行った。 ・スタッフ、参加者にひらかた体操の周知を行いながら、専門職に依存することなく自立できるように支援する。	第2層協議体で取組み			
02	令和7年4月10日		牧野	活動の場	樟葉西校区が実施しているフードバンクの取り組みについて、牧野小学校区の住民の利用者もいるため牧野校区にもニーズがあり取り組みを検討する。	牧野校区が取り組みを進めていくにあたり、個人情報等の配慮が必要であり、包括で要綱案等を作成する。	取り組みのイメージ図や要綱案があることで民生委員・児童委員や福祉委員会などの団体から内容の理解を得やすい。	第2層協議体で取組み			
03	令和7年4月10日	令和6年4月10日 令和5年10月10日 令和5年3月31日 令和4年9月30日 令和4年3月31日 令和3年10月8日 令和3年3月31日 令和2年10月10日	招提	活動の担い手 その他 （地域の交通環境）	カフェ再開の見込みが立たない。 コロナの影響でカフェ再開の見込みが立たない。その他の活動も同様。	密にならずにできる取組みを考える。 密にならずにできる屋外での活動、少人数でできる活動を考える。（ノルディックウォーキング、健康講座など） カフェ再開に向けて協議を重ねていく。 あらたな連絡先を検討する。	コロナ禍のなかでも楽しみを見つけることができる。 フレイルや閉じこもりの予防になる。コロナ禍でも他者との交流が続けられる。	第2層協議体で取組み その他（要望書の作成）			
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日 令和5年3月31日 令和4年3月31日 令和3年3月31日 令和2年3月30日	殿二	活動の担い手	元気づくり教室の担い手の確保	外部委託の導入。 株式会社LICOSによる元気づくり教室の実施。	活発かつ定期的な事業展開。 枚方市の地域元気づくり教室事業による財源の確保。	第2層協議体で取組み			
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日 令和5年3月31日 令和4年3月31日 令和3年3月31日 令和2年3月30日	殿二	活動の場	高齢者の居場所の不足	新たな活動場所の選定	活動場所の提供者との連携 オレンジカフェの実現	第2層協議体で取組み		関西医大看護学部学生と「元気づくりカフェ」を実施（令和4年度に3回）	
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日 令和5年3月31日 令和4年3月31日 令和3年3月31日	殿二	活動の担い手 活動の場	高齢者等のフレイルの懸念	市、関西医大看護学部・リハビリテーション学部に加え、美杉会と連携した教室等の実施。	フレイルからの脱却、新たな担い手の確保	第2層協議体で取組み			
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日 令和5年3月31日 令和4年3月31日 令和3年3月31日 令和2年3月30日	殿二	活動の担い手	担い手の高齢化、役割の重複	グループ支援活動と個別支援活動の一元化。 令和7年度中に統合計画を策定。	担い手の役割軽減	第2層協議体で検討			
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日	殿二	交流 活動の場	高齢者の安全な外出環境の整備	小学生の通学路にグリーンラインなどの整備し、高齢者のウォーキングにも適した環境を整えることにより、高齢者の外出機会を創出	高齢者が外出する事で、子どもたちの見守りも両立して実現できる。 枚方市の事業として電柱への掲示などを実現。	第2層協議体で取組み			
03	令和7年4月5日	令和6年4月8日	殿二	活動の担い手	活動の基礎となる自治会の加入率の低下	自治会やコミュニティの果たす役割の広報啓発	活動の担い手の増加	その他（コミュニティ等で取組み）			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
03	令和7年4月10日	令和6年7月10日 令和6年4月10日 令和6年1月10日 令和5年10月10日 令和5年7月10日 令和5年3月31日	平野	活動の担い手 活動の場	運動以外の行事が少なく、運動が苦手な人が集う機会が少ない。	運動以外の活動として音楽関係の取組みの話が出ているので、包括も協力していく。 講習会の開催など、運動が苦手な人でも参加しやすい取り組みを考える。	運動が苦手な人も交流の場を持つことができる。 試行的に音楽演奏会を実施し、好評であったので、継続して開催していく。鑑賞会のみならず、腹式呼吸等、参加型の企画も検討していく。	第2層協議体で取組み			
03	令和6年7月9日	令和6年4月10日 令和6年1月10日 令和5年10月10日 令和5年7月10日 令和5年1月10日	船橋	活動の担い手 活動の場	老人会やサロンなどに男性の参加者が少ない	男性でも参加しやすい趣味活動を増やしていく	交流範囲が広がり、新たなつながりが地域で生まれる	第2層協議体で取組み			
03	令和6年7月9日	令和6年4月10日 令和6年1月10日 令和5年10月10日 令和5年7月10日 令和5年1月10日	船橋	活動の担い手 活動の場	老人会やサロンでいつも同じ顔触れになり刺激がない。 いきいきサロン等の周知不足。	他の老人会メンバーとの交流会などを開催する。 新規会員の募集方法を考える。 音楽活動の提案があり、実現可能か検討する。 年間予定を掲示して周知する。開催地区を2地区に細分化して声かけで周知をはかる。	交流範囲が広がり、新たなつながりが地域で生まれる	第2層協議体で取組み			
04	令和6年12月6日	令和6年2月27日	殿一	交流	新しい役員と活動はできたが、地域課題の抽出できるような話し合いにならない。	イベントを行いながら、地域課題の認識を共有する。	イベント企画時に話し合いができる。	第2層協議体で検討			
04	令和6年4月12日		殿一	活動の担い手 活動の場	会議は定期的にできているが、自治会の協力が得られにくい。	イベント時に参加を促し、役割を担ってもらう。	自治会が参加することで、継続、発展が期待できる。	第2層協議体で取組み			
04	令和7年4月21日		殿一	交流	校区全体の交流が少ない。	定期的にイベントを行う。	継続することで、元気づくりを浸透させる。	第2層協議体で取組み			
04	令和7年4月21日		殿一	情報の共有	終活の不安が大きい。	昨年行ったが、今年度も終活の講義を行う。人生会議、まるわかりガイド、わたしの思い手帳の周知をする。	何度も行うことで、周知が広がっていく。	第2層協議体で取組み			
04	令和6年3月27日		小倉	その他（活動の再開について）	新型コロナウイルス感染症の影響で会議、行事の再開の目途が立たない。	感染防止対策をとれば会議は可能だが、地域の自主活動は再開しているもののコミュニティ協議会主催なので難しい。	地域の自主性に任せる。	その他			
04	令和6年4月12日	令和6年3月27日	小倉	情報の共有 活動の担い手	会長が仕事をしており、地域での活動が難しい。 なかなか地域での活動が難しい。	民生委員と今後の活動を検討する。 次回改選時に年度当初から活動を開始する。	新たにシステムが構築できる。 活動をするのが役割と感じられる。	第2層協議体で検討 その他			
04	令和6年12月6日		小倉	情報の共有	病院の送迎がしたいが、人員が集まらない。	課題として検討するが、できることから行う。まずは自治会単位での集まりを増やしていく。介護事業所の協力も得る。	できることから始める。	第2層協議体で検討			
04	令和7年4月21日		小倉	活動の担い手	予定が定期的にできにくい。高齢化で喫茶の維持も困難。	地域の事業を介護事業所の協力も得て定期的に行いそのなかで持続可能性を検討する。	役員の負担を減らし、継続して集まれる。	その他（ ）			
04	令和6年12月6日	令和6年4月12日 令和6年2月27日	西牧野	活動の担い手 交流 活動の場 その他（セルフケア）	居場所の定期開催はできているが、運営の自主化が先延ばしになっている。 定期開催できているが、広がり、継続性に課題がある。	居場所実施後に会議を行う。 運営側の輪番制が必要。	居場所を開催することで意見交換ができる。 役割を明確にし、継続拡大ができる、交流、元気づくりを行う。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
04	令和6年11月27日		西牧野	情報の共有	認知症の不安が多い。	以前、服部先生の話がとても分かりやすかった。校区全体でできないか。	認知症の理解と予防の理解が広がるのではないか。	第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	山田	情報の共有 活動の担い手 交流	コロナ禍による地域活動の自粛で高齢者の孤立・虚弱がすすんだ。 国保データベース（KDB）から糖尿病をはじめとする生活習慣病で医療受診している割合が多い。	校区住民を対象とする山田いきいきウォーキングを年間5回定期開催する。	地域の元気づくり、交流、次世代へ文化を継承できる活動の場が定着し、新たな担い手を発掘する機会とできる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	山田	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	自治会加入率は低下し、担い手不足あり、歴史ある地域活動を縮小せざるを得ない。（夏祭り等）文化的活動の継承は必要。	校区全体でもちつき大会や夏祭りを開催する。	地域の元気づくり、交流、次世代へ文化を継承できる活動の場が定着し、新たな担い手を発掘する機会とできる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	山田	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	令和3年の1年間は孤独死が増えた。 孤独死が減少している感じではない。特に冬は風呂の事故が多い。	新之栄自治会における、一人暮らし高齢者孤立対策について情報共有していく。 自治会による見守り体制等の情報を共有し、できることは取り組む。	見守り体制の対策が検討できる。 互助関係を構築し、独居高齢者の見守り体制が進められる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	山田東	情報の共有 活動の担い手 交流 その他（ ）	市内でも高齢化率が高く、介護予防や虚弱な高齢者への支援が必要。 KDBデーター等から75歳以上の健康課題に脂質代謝異常、糖尿病、高血圧があり。また、枚方市すこやかチェック票の返送結果より「生活満足度の低下があると感じている人が多い」ことがわかっている。	校区全体で虚弱な高齢者も参加可能な元気づくり活動をする。（ポッチャ大会、落語の会、花見ウォーキング、医療の講座等）	高齢者の介護予防と担い手の発掘。（第4次校区福祉のまちづくり計画策定内容との相乗効果。）	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	山田東	情報の共有 活動の担い手 その他（ ）	老人会の会員数が減少している。新たな担い手もないことへの対策が難しい。	活動を通じて次世代の担い手を発掘する。	高齢者の介護予防と担い手の発掘。（第4次校区福祉のまちづくり計画策定内容との相乗効果。）	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
05	令和6年10月9日		交北	情報の共有	大幅な役員交替により改めて地域課題を共有する必要あり。 小地域ごとの活動は継続できている。校区全体の地域課題に即した活動計画の検討も必要。	令和6年度第2回第2層協議体会議の開催により、小地域活動は継続しながら校区の課題を抽出する。	小地域活動の活性化と課題に対する効果的な取り組みを検討できる。	第2層協議体で検討			
05	令和7年4月4日		交北	情報の共有 交流 活動の場	自治会数が多く、校区全体の課題を集約しにくい。	定期的な会議開催により地域課題を抽出し、活動内容については主に校区福祉委員で検討し実施する。 KDBデータなどからわかる後期高齢者の健康課題についてサール・ナート企画の事業を受ける。	地域づくりに必要な情報共有と課題整理、元気づくり活動が効果的に進む。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日		交北	情報の共有 交流 活動の場	分配金を利用した小地域（老人会等）の元気づくり活動がコロナ禍を経てやや増えている。分配金は重要な活動費となっている。	小地域（老人会等）の活動存続と活性化を目的に活動状況に応じた分配金のシステムは継続する。	小地域（老人会等）活動の維持や、高齢者が集う場所の資源創出につながる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	禁野	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（ ）	校区合併による地域課題の情報共有が必要。	・世帯情報の集約目的で住民向けにアンケートをする。 ・見守り活動で使える3つ折りパンフレットを作成する。 ・禁野校区福祉マップをつくる。	禁野校区の課題整理がすすむ。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	禁野	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（ ）	校区福祉委員会やボランティアが身近に活躍できる場所がほしい。	・世帯情報の集約目的で住民向けにアンケートをする。 ・見守り活動で使える3つ折りパンフレットを作成する。 ・禁野校区福祉マップをつくる。 ・高齢者の居場所を作る。（サロンなど）	禁野校区の課題整理がすすむ。 地域住民の互助関係構築により、一人暮らし高齢者の孤立化を予防できる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和7年4月4日	令和6年10月9日	禁野	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（ ）	URへ高齢者の転入が多くあるが、集いの場が少ないため孤立しやすい。見守りが必要な新たな対象者の把握も難しい。 （特に中宮北地区） 団地に転入する一人暮らしの高齢者が一定数おり、特に男性は孤立しやすい。	・高齢者の居場所を作る。（サロンなど）	地域住民の互助関係構築により、一人暮らし高齢者の孤立化を予防できる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和5年10月10日		高陵	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	学校がなくなったことで、高齢者が集まる場所がない。（禁野小学校までの距離や地形的な問題）	校区福祉委員会の合併後も、サロンの活動などは従来通りの場所で、地区ごとに開催する。 旧校区ごとの集まり、新校区全体での集まりをそれぞれ企画する。	地域住民にとって引き続き参加しやすく、交流することができる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
05	令和6年4月5日		高陵	情報の共有 交流 活動の場	校区の範囲が坂の上地域と坂の下地域に分かれ、広範囲となる。行事開催場所を阪の上だけにすると、高齢者は参加できない。	校区福祉委員会の合併後も、サロン活動などは、従来通りに場所で、地区ごとに開催する。新年度から禁野校区として新しい役員体制になるが、新旧交代の際には活動場所等、引き続き提言していく。中宮北校区の第2層に引き継ぐ。	地域住民が合併後も従来通り安心して暮らしていける。	その他（合併後の第2層協議体に引き継ぐ）			
06	令和6年3月31日	令和5年10月5日	桜丘	情報の共有 交流 活動の場	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行するも、高齢者のフレイルが問題視されている。	地域で先駆的に取り組みを開始したくらわんかウォークーズの活動支援を継続する。 体力測定会の開催や老人会、いきいきサロンへの講師派遣などの協力を行う。	新たなグループやメンバーが追加され活動の充実・拡大を図ることができた。 高齢者の健康管理や閉じこもり予防になり、フレイル防止につながる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
06	令和7年3月31日	令和6年3月31日 令和6年10月7日 令和5年10月5日	桜丘	情報の共有	災害時などの安否確認手段について訪問活動が主としているが、地域活動の担い手の高齢化が見込まれる中で、継続可能かつ安全な手段や方法の模索が必要。 災害時などの安否確認手段や日頃の情報収集のための手段や方法も模索と習慣化が必要。	非常事態時の連絡手段の確保のため、2ヶ月に1回定期的に高齢者向けスマートフォン教室を開催する。 2024年11月30日に「さくらおか防災・福祉フェスタ」を開催した。	高齢者がスマートフォン操作の理解やスキルアップを目指すことで、情報収集や連絡のツールとして使用できるようなサポート体制の一助となる。 また、「さくらおか防災・福祉フェスタ」の開催により、地域での防災や介護、福祉への関心を高め、災害時の地域での連携の必要性を実感できる機会となった。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
06	令和7年3月31日	令和5年10月5日	桜丘	情報の共有	第2層協議体について、校区ごとの取り組みのため、他校区のことがわからない。	第6圏域 元気づくり・地域づくり情報交換会を開催。 2025年3月25日に「第6圏域 元気づくり・地域づくりプロジェクト情報交換会」を開催。各校区の主要メンバーに集まって頂き、情報交換の場を持った。	第2層や第3層の目的や役割について再確認することができる。 また、それぞれの活動や取組を情報交換することで自校区の取組に反映するなど今後の発展が期待できる。 各校区の活動内容を知ることにより、自校区の取り組みに反映するなど今後の発展が期待できる。	第2層協議体で取組み		令和5年9月29日 第6圏域 元気づくり地域づくり情報交換会を開催した。	
06	令和6年10月7日		桜丘	情報の共有 交流 活動の場	高齢化の進行により特に災害時には若年層に比べ深刻な状況下に置かれてしまうリスクが高い。	災害や福祉をテーマにしたイベントの開催を計画する。	消火器やAEDの使用方法、防災機器の展示などを行い、災害についての理解の促進と、防災の意識向上、災害時において近隣同士の共助を促す効果が期待できる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
06	令和6年10月7日		桜丘	情報の共有	民生児童委員が活動するにあたり不安や悩みを抱えている恐れがある。	桜丘・桜丘北・川越校区民生児童委員定例会において情報交換会を実施。「民生委員困りごとあるあるカード」ツールを包括にて作成、情報交換会で用いることによりスムーズかつ活発な情報交換ができるようにした。	日ごろからの見守り、支援活動について民生児童委員同士の情報交換ができたことで不安軽減につながった。	第2層協議体で検討 その他（包括で対応）			
06	令和6年4月1日	令和4年9月30日 令和3年9月24日	桜丘北	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	スマートフォンを使いこなせていない高齢者が多く、情報弱者となる懸念がある。災害時等の連絡体制の環境整備が必要。 スマートフォン教室の参加者の固定化。	第2層協議体にて、コミュニティや民生委員等のニーズ聞き取り。 これを受けて、出張スマホ教室の対応可能な携帯ショップを探し、校区内でのスマホ教室開催を提案する。 自治会やサロンのメンバーに新規の参加依頼。	スマートフォンに普段から慣れておくことで、災害時等の非常事態の際に、LINE等で連絡を取る事を目指す。 新規にスマートフォン教室に参加していただくことにより、より多くの高齢者がスマートフォンで情報収集などができるようになる。 LINEを使えるようになる事で横のつながりが出来、災害時の安否確認もできるようになる。また、SPRINGひらかたと連携することにより地域も横のつながりができる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み	済	令和4年4月以降毎月スマートフォン教室開催（令和5年1月除く） スマートフォン教室にてLINE講座開催。 合わせてSPRINGひらかたよりコーヒー提供。令和6年度はUR（桜岡団地）でも定期開催予定。	

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
06	令和5年10月2日		桜丘北	交流活動の場	スマホ教室を一度受講しただけでは覚えられない。	令和５年５月より再度初心者向けの講座開催	初心者コースを繰り返し受講していただくことにより、スマホの操作ができるようになる。	第2層協議体で取組み			
06	令和5年10月2日		桜丘北	活動の担い手 交流活動の場	池之宮地区の相談が増加傾向にある。	街かどデイハウスにて「懐メロ歌声サロン」と介護相談会を第４水曜日に定期開催する。	街かどデイハウスという身近な場所での交流や相談の機会ができる。	第2層協議体で取組み			
06	令和6年4月1日	令和5年10月2日	桜丘北	活動の場	コロナ禍から地域でのイベントが少なくなり交流する機会が減った。子どもから高齢者まで地域で交流する機会が少なくなっている。	校区コミュニティ協議会と協働で令和５年11月12日に健康フェスタを開催予定	地域交流の機会をつくるとともに、星ヶ丘医療センターの協力により、多職種により介護予防や健康啓発ができる。	第2層協議体で取組み		令和5年11月12日健康フェスタ開催（303名参加）	
06	令和7年3月26日	令和5年10月5日	桜丘北	活動の担い手 交流活動の場	第2層協議体の取り組みが校区ごとのため、他校区のことがわからない。	第６圏域 元気づくり地域づくり情報交換会を開催する。 2025/3/25に「第6圏域 元気づくり・地域づくりプロジェクト情報交換会」を開催し、各校区の主要メンバーに集まって頂き、情報交換をしていただく場を持つ。	第２層や第３層の目的や役割について再確認することができる。 また、それぞれの活動や取組を情報交換することで自校区の取組に反映するなど今後の発展が期待できる。	第2層協議体で検討		令和５年９月29日 第６圏域 元気づくり地域づくり情報交換会を開催した。	
06	令和6年度上半期		桜丘北		各老人会と包括が個別で関わる機会が少ない。	5/13池北長寿会、6/14・8/9ゆうゆう会、出前講座を開催。	顔を合わせて関わる機会を持つことにより、地域からの声を聞くことができた。	その他（出前講座）			
06	令和7年3月26日	令和6年度上半期	桜丘北		UR（桜丘団地）で自治会員と会員以外が同時に集まる機会が少なくなっていた。	毎月第2（金）、UR（桜丘団地）集会所にてスマホ教室を開催。 UR（桜丘団地）の集会所で「桜丘団地カフェ」を5/29と12/4に開催予定。	定期的にイベント開催する事により、高齢化が進んでいるUR（桜丘団地）のフレイル予防になる。自治会関係なく住民同士が顔を合わせる機会が増え横の繋がりができる。	第2層協議体で取組み			
06	令和7年3月26日	令和6年度上半期	桜丘北		「ワンコインサービス穂光」介護保険でできない事のサービスを提供できる地域資源だが、対応できるスタッフが●●様親子のみとなっている。	地域（コミュニティ）・コーディネーターと協働してサポーターを募る。	地域と連携しながら住民同士の良心的な支え合いができる。	第2層協議体で取組み			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
06	令和5年10月5日	令和5年3月31日 令和4年9月30日	中宮	交流活動の場	老人会を対象とした「くらわんかウォーカーズ活動」がリーダーやメンバーの体調不良や高齢化などにより、グループとしての活動ができていない。	自発的な活動が却ってリーダーやメンバーの負担にならないよう配慮しながらグループとしての活動を促す。 ウォーカーズ活動を継続することの効果と活動方法について、会合の場を設定していただき再度確認を行った。	無理のない範囲でグループ活動することで、メンバー同士の見守り合いやモチベーション向上につなげる。 活動の有用性について認識いただくことで無理のない範囲で仲間と一緒に活動し、メンバー同士のモチベーション向上につながった。	第2層協議体で検討 活動のサポートを行う			
06	令和7年3月31日	令和6年10月7日 令和6年3月31日 令和5年10月5日 令和5年3月31日 令和4年9月30日 令和4年3月31日	中宮	活動の担い手 交流活動の場	令和4年1月から地域の支えあい・助け合い活動として、「中宮おたすけメイト」を本格実施しているが、活動依頼や担い手が増加しない状態が続いている。	民生委員から一人暮らし高齢者への活動の周知や地域の居宅介護支援事業所等へインフォーマルサービスの一環として周知を継続して行う。圏域の生活支援コーディネータ情報交換会にて「地域での支え合い活動」の一環として周知する。 支え手であるメイト同士が意見交換や交流できる場を定期的に持つ。 おたすけメイト同士が意見交換できる場として2024年12月8日に意見交換会を開催した。	継続的に民生委員を通じて地域の一人暮らし高齢者等への周知や、インフォーマルサービスの一環として介護支援専門員等に活動を周知することで活動依頼の増加に繋がる。 活動の機会を増やすことでメイト自身のモチベーション維持にも繋がる。 地域の支え合い活動の一環として各方面に周知することで活動依頼の増加につなげる。 メイト同士が定期的に意見交換や交流ができる機会を持つことで、メイト自身の地域に貢献しようというモチベーションの維持にもつながる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み 第1層協議体へ提案 その他（活動のサポート）		令和4年度、地域の居宅介護支援事業所向けの研修会において「地域での支え合い活動」の一環として周知を行った。また、地域包括支援センターLINE公式アカウントにて活動の紹介を行った。 圏域の生活支援コーディネータ情報交換会にて「地域での支え合い活動」の一環として周知をした。 令和5年度下半期におたすけメイト同士が意見交換や交流できる場を実施よていだったが諸事情により令和6年4月に延期予定。	
06	令和5年10月5日		中宮	情報の共有 活動の担い手 交流	民生児童委員の一斉改選により、特に新任民生委員が活動をしていくうえでの不安や悩み事を抱え込んでいる恐れがある。	校区民生委員定例会にて見守り活動についての研修会を開催し、エリア別にグループに分かれて意見交換を実施する。	見守り活動について民生委員同士の意見交換や情報交換ができたことで不安軽減に繋がる。	第2層協議体で検討 その他（包括で対応）		校区民生委員定例会にて見守り活動についての研修会を開催し、エリア別にグループに分かれて意見交換を実施した。	
06	令和7年3月31日	令和5年10月5日	中宮	活動の担い手 交流活動の場		第2層協議体の取り組みが校区ごとのため、他校区のことがわからない。 2025/3/25に「第6圏域 元気づくり・地域づくりプロジェクト情報交換会」を開催し、各校区の主要メンバーに集まって頂き、情報交換をしていただく場を持つ。	第2層や第3層の目的や役割について再確認することができる。 また、それぞれの活動や取組を情報交換することで自校区の取組に反映するなど今後の発展が期待できる。	第2層協議体で取組み		令和5年9月29日 第6圏域 元気づくり地域づくり情報交換会を開催した。	
06	令和7年3月31日	令和6年10月7日 令和6年3月31日	中宮	活動の担い手 交流活動の場	民生委員が活動していくうえでの不安や悩み、プレッシャーを抱え込んでいる恐れがある。	実際に民生委員が関わっている困難ケースにおいて、校区長を交えて個別地域ケア会議を開催した。 2024年11月28日 中宮・明倫校区民生児童委員定例会において情報交換会を実施。「民生児童委員困りごとあるあるカード」ツールを包括にて作成、情報交換会で用いることによりスムーズかつ活発な情報交換ができるようにした。	支援の在り方や今後の支援の方向性について関係機関と情報共有することにより活動への不安軽減につながった。 日ごろの見守り、支援活動について民生児童委員同士の情報交換ができたことで不安軽減に繋がった。	第2層協議体で検討 その他（包括で対応）			
06	令和6年9月30日	令和5年9月31日	明倫	情報の共有 活動の担い手 交流活動の場	コロナ禍で地域とのつながりが希薄化した。 独居や高齢者世帯が多く、多世代間の交流の場がない。	小学校の体育館を借り、「健康」をテーマにスタンプラリーを実施し、子どもから高齢者まで参加しながら健康の知識を得られ、交流できるようにする。	次年度の活動へつながる。 イベントの参加者は、全体で62名、子供27名、大人35名（うち60歳以上19名）だった。地域の方の協力もいただくことができた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み		地域の協力を得ながらの開催は初めてのことであり、参加者は40名程度であったが、同じくらいのスタッフの協力が得られ、次年度の活動へつながるように感じられた。	
06	令和7年3月31日	令和6年9月30日 令和5年9月31日	明倫	情報の共有 活動の担い手 交流	高齢者が気軽に学べる場がない。タイムリーな情報や地域の情報を得にくい状況にある。	地域の薬局と協力し、近隣の高齢者の学びの場の提供やドコモと調整し、スマホ教室の定期開催を行う。	興味のある内容への参加により、同じものを好む人たちの交流の場になったり、情報交換の場になっている。 馴染みのないスマホの操作は難しく、何度も繰り返し学ぶことで少しずつ操作できるようになっている。参加者同士の教え合いも交流の場になっている。	第2層協議体で検討 その他（包括で対応）			
06	令和7年3月31日	令和5年10月5日	明倫	活動の担い手 交流活動の場		第2層協議体の取り組みが校区ごとのため、他校区のことがわからない。 2025/3/25に「第6圏域 元気づくり・地域づくりプロジェクト情報交換会」を開催し、各校区の主要メンバーに集まって頂き、情報交換をしていただく場を持つ。	第2層や第3層の目的や役割について再確認することができる。 また、それぞれの活動や取組を情報交換することで自校区の取組に反映するなど今後の発展が期待できる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み 第1層協議体へ提案		令和5年9月29日 第6圏域 元気づくり地域づくり情報交換会を開催した。	
06	令和6年3月31日		明倫	情報の共有 交流	元気に高齢期を迎えるための知識の更新が必要 地域で気軽に参加できる健康講座がない。	近くにある開業医に依頼し、「健康寿命セミナー～元気な高齢期を過ごすためにできること～」を開催する。	新たな健康づくりに取り組むことができる。	第2層協議体で取組み		講座には40名参加され、これまでの思い込みから、新たな健康づくりに取り組むことができる。	
06	令和6年3月31日		明倫	情報の共有 活動の担い手 交流活動の場	コロナ以降、地域の活動が減り、高齢者の閉じこもりや社会とのつながりが低下している。	坂の下地域でのスマホ教室の開催 所有している携帯が様々であり、LINEの使い方を学ぶ機会の提供	他者とLINEでつながれるようになる。	第2層協議体で取組み		キャリアは様々でもLINEの使い方の基礎を習得し、他者とLINEで繋がれるようになった。グループLINEで交流も可能になった。	
06	令和6年9月30日		明倫	情報の共有 交流	独居の高齢者が多く、今後認知症高齢者の増加が見込まれることから、自助能力を高めるためにも認知症予防に取り組む必要がある。	圏域内で開業されている脳神経外科の医師に依頼し、認知症予防講座を開催した。	講座には39名ほど参加され、知識の更新が行えた。アンケート結果からも好評で、継続した取り組みが必要。	第2層協議体で取組み			
06	令和7年3月31日		明倫	交流活動の場	高齢者の外出を促進するために設置してある宮之阪商店街の椅子（椅子プロジェクト）の周知が進んでいない。	校区の小学生に椅子プロジェクトの周知のための絵をかいてもらい、商店街のさくらまつりに合わせて商店街内に展示してもらい、椅子の周知を図る。高齢者や子供達にはスタンプラリーを開催し、椅子の場所を確認してもらえるようにする。	参加した高齢者は12名。スタンプラリー参加時の歩数確認のためスマホにアプリをインストールをし、スマホの使い方とも教わることができた上に、企画も楽しまれており、喜んでおられたが、参加者が少ないのが課題となった。				

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
07	令和7年4月10日	令和5年10月10日	伊加賀	情報の共有 活動の担い手	民生委員の欠員が多く、担い手がいらない。拘束される時間の関係もある。 担い手や参加者の減少、負担について。	民生委員の報酬は都道府県ごとに違うが、報酬を上げてもらえないか。 自治会、コミュニティの中で推薦するのが良いのではないか。 ・各委員の負担を考慮し、凝縮した内容にして開催回数を見直す。 ・机など備品の軽量化といった工夫をする。 ・参加者の負担にならない内容と実施方法、満足感を得られるための工夫をする。 ・市主催のイベントなど、既存の資源の活用も視野に入れる。 ・次回から老人会に会議への参加を依頼し、意見や提案を募る	担い手不足の解消。 参加者も担い手も見りなく続けて行くことができる。	第2層協議体で取組み			
07	令和5年10月10日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	食事を伴った活動の再開	「ふれあい食事会」は、その場での飲食は安全性を考慮て実施できないにしても、持ち帰り方式で続けたい。	感染状況を鑑みながら、可能な限り取り組んでいく。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和5年10月10日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	活動の幅を広げる。	採点式のカラオケ機器で、カラオケを実施し、来年のNHKのど自慢参加へつなげる。	興味、関心のネタを提供し、参加住民のモチベーションをアップさせ、活気のある取り組み内容とする。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和5年10月10日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	活動の場を設ける。	第7圏域 認知症カフェ開設に向けての懇談会を開催する。 地域の実情や希望に沿った内容にして継続させたい。 コミュニティ協議会、自治会、校区福祉委員会からも、懇談会に出席する。	地域の実情や希望に沿った内容にし、持続可能な取り組み内容とする。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和6年3月31日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	サロン等への参加者減少	参加対象者を70歳以上の高齢者とする。福祉委員が気にかけている住民を個別に誘いサロン参加へつなげる。次月開催サロンのチラシを用意し回覧する。	ひとり暮らしに限定せず、夫婦2人世帯の参加を促す。コロナ禍で回覧を回さず掲示板への掲示のみにしている自治会がある。チラシ回覧を依頼し周知を図る。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和6年3月31日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	地域資源の活用	枚方警察署の防犯教室にて講師を派遣してもらい何度でも繰り返し特殊詐欺被害防止公園を開催し啓発していく。明治乳業などの骨密度講習を開催し身体の健康について考えてもらう機会をつくる。	福祉委員に大きな負担がかからないよう活動を継続する。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
07	令和6年10月9日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	自治会未加入などで回覧板での回覧先が減少してる。	掲示板での周知を実施する。顔見知りの人等へ口コミで周知する。	可能な方法で周知し行事への参加者を募る。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和7年4月10日	令和6年10月9日	伊加賀	情報の共有 その他	・ 掲示板設置を市へ依頼するが、新たな掲示板の設置許可が下りにくい。 ・ 各活動の周知方法について掲示板が少ない、設置がない。 新規設置が難しい。対象者に確実に届けたい。	・ 引き続き市へ訴えていく。 ・ 近隣店舗への協力を依頼。 ・ 個人所有する畑、土地への設置をお願いする。（対象の方を知っている委員やコミュニティからの依頼） ・ チラシの個別配布を継続 ・ 所有者不明の掲示板の活用 ・ HPの活用	・ 地域資源の活用 ・ 対象者にとって身近な場所で周知できる。（よく通るところ、よく知っているところ）	第2層協議体で取組み			
07	令和7年4月10日	令和6年10月9日	伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	サロンの取り組み内容開拓で将棋を取り上げた場合、教えてくれる支援者を確保できるか。 地域の人材の活用。	公園で個人的に対戦している方々の中から「教えたい人」を発掘していく。囲碁将棋、麻雀は委員さんや地域の方への声掛けでサポートできる人を増やす。 ボランティアさんへの呼びかけ。	新たな取り組み内容、新たなスタッフの開拓へつなげる。 参加者が増える。交流ができる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和6年10月9日		伊加賀	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	電球の取り換え等、ちょっとした困りごとに対応してくれる人が居て欲しい。	協力者を組織できるかどうか下川コミュニティ会長が検討される。	困りごとに対応してくれる人の存在で、安心して生活ができる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み その他			
07	令和6年4月30日	令和 5 年 4 月 30 日 令和 4 年 10 月 27 日 令和 4 年 3 月 31 日	さだ西	情報の共有 活動の場	新規の参加者を増やす。 マンネリ化を防ぐため、新たなニュースポーツを取り入れる。	参加者同士の雑談を通じた新たな内容を模索する。 部屋の広さにより最大25人程度の受け入れが限度。開催場所が限られているので分割開催などを検討。 枚方体操、演歌体操は継続して、体を動かす簡単なスポーツを模索。（モルック、ノルディックウォーキング等） 他校区開催の情報を取り寄せる。 屋外開催することが新しい軽スポーツバルシューレ等ができる。	マンネリ防止のため、新しい内容を取得。 飽きずに継続しての参加期待、新規参加者も期待。 参加者 3 ～ 4 割の増員可能に回覧板の活用ができる。 試しに5月開催場所を屋外で実施。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
07	令和7年4月17日	令和6年10月31日	さだ西	情報の共有 活動の場	開催日・時間の変更。 月毎の開催曜日を避ける。	参加者の通院日が曜日固定されているので、開催曜日を月毎に替えて参加者の要望に応える。 開催時間の固定（午前）から午後の開催は困難か？	要望に応え、多くの方に参加してもらう。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
07	令和7年4月17日	令和6年10月31日	さだ西	情報の共有 活動の場	開催場所・内容の件	気候の良い季節に屋外開催を多用する。 参加者の受け入れ限度（25人）以上だと開催場所が見つからないことから、屋外・郊外の開催を多用しては？	5月の開催結果から秋季にも検討、全員で食事を通じ親睦を深める。 屋外で2～3回/年実施。参加増が見込まれる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
07	令和6年10月31日		さだ西	情報の共有 活動の場	男性参加者を増やす。	コミュニティ麻雀を定期的に実施。全員が同一の内容を行わず同開催日に複数の内容ができないか模索。	男性の参加者増を図る。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
07	令和7年4月17日		さだ西	活動の担い手 活動の場	賄い手を増やせないか。	ポスター・回覧でのPR。 協力従事者の増員。 従事者の平均年齢約70歳。	従事者の増員＆従事者若返り。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
07	令和6年10月15日		さだ東	情報の共有 交流	老人会の中では様々なサークルがあり、サークル参加者は活発に活動しているが、全体的には、住民の意欲の低下、近所（隣）との関係が希薄になっている。	毎月、第2金曜日は"コミカフェ"というのを定着させる。お茶を飲み、"ホッとひといき"から、情報提供の場となる講座なども取り入れる。	本年度はフレイル予防に力を入れる。興味を持つ人が多い。専門職の方を講師に招くので、わかりやすく充実した時間になる。	第2層協議体で取組み			
07	令和7年4月		さだ東	情報の共有 交流 活動の場	高齢化で介護申請する人も増えた。一歩手前の人の家や地域でできる体操や生活留意点を知りたい人あり。また、指導の必要性を感じる。	月1回の"コミカフェ 木かげ"の中で今年度フレイル予防を軸に包括・理学療法士・言語聴覚士さんを講師にまねいた。 看護学生さんの実習で"体操"も取り入れる。	今まで参加（コミカフェ）していなかった人で元気な方にも興味をもっていただいて参加者が増えた。				
07	令和7年4月		さだ東	情報の共有 交流 活動の場	地域の繋がりが薄くなって、ちょっとしてほしいこと"ごみ捨て・廃品回収"をヘルパーさん又は事業所をお願いする方がいる。	地域援助活動でボランティア募集を考える。	今後の取り組み、調整中。				
08	令和6年3月31日		枚方	交流 活動の場	青少年センター1階のスペースが活用できていない。民生委員にとって、地域の住民を見守る大切な場所であり、住民にとっては大変利便性が良く居場所などに活用できないか。大阪府の居場所事業では助成金が出るため、今後もあるのであれば活用を考える。	一校区だけではなく、広く住民の利便性に関わることである。 第1層協議体へ提案	駅前の空きスペースの活用を行うことで、居場所など多様な取り組みを行うことができる。	第2層協議体で取組み 第1層協議体へ提案			
08	令和6年9月30日		枚方	情報共有	自治会長より訪問販売やチャイムの押し逃げが多いと聞いている。	消費者被害防止の啓発を行った。 ハイルスクアプローチについての情報共有。	一(未記載)	第2層協議体で検討			
08	令和6年9月30日		枚方	その他（高齢者の移動の問題）	買い物に行く移動手段で困っている人は多い。他市でもライドシェアみたいなものをされているところもあるので、枚方市でもあれば手伝いたい。 介護タクシーなど市で安くしてほしい。	いすプロジェクトについて紹介、情報提供。	高齢者の移動の問題は引き続き検討が必要。	第1層協議体へ提案			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
08	令和6年9月30日	令和6年4月1日	山之上	活動の担い手	地域活動が一部の校区福祉委員と民生委員の負担となっている。校区福祉委員活動と元気づくり活動が兼務となっている。 民生委員より、元気づくりの取り組みと切り離して活動を行っていきたいことを話されていた。また、ほとんどが民生委員の方が中心となっているのが実情である。地域の課題として、民生委員の負担を軽減するためにも担い手が増えるように何か案を考え提案していく必要がある。	一部の活動者の負担を減らすために、校区でサポーターを養成していく。 認知症サポーター養成講座を活用し地域活動の担い手（ボランティア）を募っていく方法があることを伝える。	地域活動の継続。	第2層協議体で検討			
08	令和7年3月31日	令和6年9月30日	山之上		山之上校区には坂の問題があり、買い物等に苦慮する高齢者の移動の問題がある。椅子プロジェクトに対しての補助金は出してくれるのか？という話があった。	枚方椅子プロジェクトについての周知。椅子プロジェクトのチラシは地域への広報のため、50部を〇〇会長、15部を山之上北の自治会長へお渡しできるように準備する。 ベンチの設置や公民館手前の坂に手すりを検討している。さつきが丘では、さつき公民館前のベンチが好評なことから、もう一つ椅子を老人会の部会で作成している。完成したら置くことになる予定。 また、コミュニティ協議会としては、桜の時期では山之上公民館下の桜の近くに椅子を置いていた。また、山之上公民館周辺にベンチを設置する案が出された。	自治会等の地縁団体からの取り組み周知。 高齢者の移動問題の解消。	第2層協議体で取組み			
08	令和6年3月31日		枚方第二	活動の場	校区内高齢者の生活のしづらさがある。	民生委員と地域包括支援センター、社協と協力し支援を行った。 民生委員などの地域活動者が行う日頃の見守り活動は大切であることを共有。	継続的な活動支援	第2層協議体で取組み			
08	令和6年9月30日		枚方第二	活動の担い手	民生児童委員会とともに支援を継続していた方の近況報告を行った。未然のリスクを防ぐために今後も見守り活動は重要なので継続していかなければならない。地域の中で、生きづらさを抱えながらも生活されている高齢者がいる。地域からの苦情など対応に苦慮していた。民生委員の負担が非常に大きい。	一(未記載)	一(未記載)	第2層協議体で取組み			
08	令和6年9月30日		枚方第二	活動の場	・再開のアナウンス不足。 ・ボランティアに体調不良の方が出て、人が足りない状況にあった。	・9月上旬に枚二みつばカード発行171名の内、校区民127名に対して手紙を送付した。わざわざ包括に電話があった。手紙の反響もあり、非常に多くの参加があった。包括にも近くに居場所がないか問い合わせがある。その際には枚二みつばを案内している。高齢者にとっては、近くの場所にあることが大変価値がある。 ・居場所の参加者に手伝ってもらった。そういったことがとても大事だ。	一(未記載)	第2層協議体で取組み			
08	令和7年3月31日		枚方第二	活動の担い手	定期的な居場所の活動を担う担い手の不足。	地域のボランティア活動の接続。	居場所の活性化。	第2層協議体で取組み			
09	令和5年10月16日		開成	活動の担い手 交流	新型コロナウイルス感染症により活動を休止していた期間が長く、校区住民の認識が乏しい。 参加メンバーがいつも同じで、新規の参加者がいない。	人が集まってくる居場所となるよう企画・運営方法を考案する必要がある。	興味を持った人が集まるので担い手の発掘になる。 担い手の活動の拠点となる。	第2層協議体で取組み			
09	令和6年10月15日		開成	情報の共有	企画の周知方法がチラシを自治会・管理組合の掲示板又は回覧での伝達になっているため完全に周知されているか不明である。	ホームページを立ち上げ幅広い周知方法を構築する。 枚方市のホームページの枠を利用できればありがたい。	携帯電話でいつでも情報を入手することが可能となる。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
09	令和6年10月15日		開成	活動の担い手	福祉委員会と共催の企画が主になっているため、活動の担い手がほぼ固定されている。 新しい世代の考えも参考に取り入れたい。	福祉委員会メンバー以外の意見を取り入れ、企画の参考にしたい。	幅広い世代を受け入れることで、事業をより一層活性化できる。	第2層協議体で検討			
09	令和6年10月15日		開成	活動の場	ポッチャを重点事業として実施しているが、幅広く参加を集める会場の確保が困難である。	南部生涯学習センターや香里ヶ丘図書館を活用し、使用料の補助を設定し幅広い住民の参加を求める。	URや分譲住宅の集会所が利用できる住民以外が参加しやすい環境を構築することで、さらに利用者を確保することが可能となる。	第2層協議体で検討			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
09	令和7年4月1日	令和5年10月10日 令和4年9月30日 令和4年3月31日 令和3年9月30日	香陽	活動の担い手	「おたすけメイト」のコーディネーターが辞意を示している。 既存の助け合い組織である「おたすけメイト」コーディネーター退任後、後任が決まっていない。「おたすけメイト」の高齢化が進み、新たなメイトの発掘と育成が必要。	地域の状況やメイト活動を理解している方に自薦、他薦問わず説明する。 地域の状況やメイト活動を理解している方に声掛け。 コーディネーターの負担を減らすために補佐をつけることを検討する。 コーディネーターは元気づくり会議役員が兼務して対応中。 新たな人材の発掘など活動内容の見直しを検討中。	推薦者複数名あり説得中 コーディネーター後任候補者1名見つかる。 引き続き探しつつ、一時的にコーディネーター代理を元気づくり地域づくり会議メンバーから選出した。 新任コーディネーター受任交渉中。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
09	令和5年3月31日		香陽	活動の場	地域で自主運動グループ立ち上げを試みているが、自主化につながらない。	活動内容にコグニサイズを取り入れるなど、メンバーが気負わずに続けられるよう働きかける。	試験的にコグニサイズを実施したが、まだメンバーには自主化の気持ち芽生えていない。引き続き自主活動に向けた働きかけを続けていく。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
09	令和6年10月10日	令和5年10月10日	香陽	活動の場	体操を通した居場所を立ち上げ中であるが、講師への依存が強く、活動全体の自主化が鈍化している。	目指しているものはあくまでも「居場所」であって体操教室ではなことの共通認識を持てるよう、元気づくり地域づくり会議の目指す地域像を改めて説明する。 講師の介入頻度を減らすなど、支援者がいない活動日を設けている。	講師の待ち時間を徐々に減らしたり、解散の前にティータイムを設けるなど、メンバー同士のつながりを深める活動が盛り込まれるようになる。 メンバー同士のつながりは深まり、講師がいない活動日は自分たちで何をするか準備して取り組めているが、講師に依存する意識はあまり変化がない。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み		目指しているものはあくまでも「居場所」であって体操教室ではなことの共通認識を持てるよう、元気づくり地域づくり会議の目指す地域像を改めて説明した。	
09	令和6年10月10日		香陽	活動の場	校区全体の高齢者の健康づくりを発展させるために、校区内に新たな居場所を立ち上げたばかり。	『香里ヶ丘11丁目集会所元気づくり教室』を月1回開催。参加メンバーの様子を観ながら、継続に向けた働きかけをしている。	「自宅の近くで集まれる場所がほしかった」、「活動を続けたい」といった声が多く聞かれた。活動の継続と自主化に向けた働きかけを継続中。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
09	令和7年4月1日		香陽	活動の場	校区内の高齢化率が30%を超えている。ソーシャルフレイルを予防するために、高齢者の居場所の取組内容の充実が必要。また、防犯・防災の視点から、地域で孤立しない見守り体制の構築が必要。	校区内の自治会単位を目安に、3か所目、4か所目の居場所立ち上げ支援を行っている。メンバー同士の活動実績が維持できるよう、取組み内容を提案するなど支援している。	3か所目の居場所、3月で支援者の介入終了。完全にメンバー同士で活動自主化に至った。4か所目の居場所は、運営自主化に向けて支援を継続中。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
09	令和6年4月5日		香里	活動の場	ひとり暮らし高齢者の会（香里あかね会）の会員が減少している。	ほっとカフェは香里園地域で開催しているため、香里あかね会とは場所が相違している。位置づけを考えて支援する。	住民の近くで集まれる場所の提案ができる。	第2層協議体で取組み			
10	令和5年10月10日	令和4年3月31日	東香里	交流 活動の場	参加する人の顔ぶれが固定されてきている傾向にあるので新規の参加者の参加を促したい。	運営団体である自治会や老人会の集まりの時にサロンの紹介をする。 住民回覧の回数を増やし、情報を届ける。 専門の機関紙を年数回発行し、内容を伝える。	広く情報を伝えることで、新しい参加者の参加が期待できる。 地域の人々に通える場所があることを広め、外出の一步につながる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
10	令和7年4月	令和5年10月10日	東香里	活動の担い手 交流 活動の場	参加者が積極的に活躍すること。	長年参加している参加者が、得意なことを披露したり、教えたりできる場所をつくる。 みんなで楽しめる企画があれば参加者に提案してもらう。	参加者が積極的に披露することで、より多くの高齢者が活躍できる場であることを認識できる。 若いころから得意だったことなど、披露・提案することで、参加者同士の交流ができる。	第2層協議体で取組み			
10	令和6年10月		東香里	活動の担い手 交流 活動の場	担い手を増やす。	開催日に毎回手伝ってくれる人を見つける。	・朝など準備が忙しい時に、手順がわかっている人がいると心強い。 ・役割を担うことで、参加回数が増える。	第2層協議体で取組み			
10	令和6年10月		東香里	交流 活動の場 その他（健康）	体を動かす。	ポッチャを取り入れる。	・誰でも参加し、楽しむことができる。 ・ルールを覚えた参加者が、審判などの役割を分担。 ・チームを作ることで、参加者同士の交流が深まる。	第2層協議体で取組み			
10	令和7年4月		東香里	交流 活動の場	外出しにくい高齢者	季節の気候の良い時期にバス旅行で郊外へ連れ出す。	・移動手段の心配なく、無理なく散策できる。外食、買い物などが刺激になり気分転換にもなる。 ・参加者同士も普段とは違う交流ができる。	第2層協議体で取組み			
10	令和7年4月		東香里	交流	高齢者の会話不足	・ゲームや昼食を共にする。 ・顔見知りを作るためにも声掛けをしていく。	自然と心が開き、おしゃべりを楽しめるようになる。	第2層協議体で取組み			
10	令和7年4月10日	令和6年4月10日 令和5年10月5日	春日	活動の担い手 交流 活動の場	活動の担い手の高齢化により負担が大きくなっている。 参加者が減少している。 新規参加者が増えない。 開催事業がマンネリ化している。 新たな担い手が見つからない。	新しい活動の担い手を見つけ、負担の軽減につなげる。 各自治会で同じ行事を開催する場合は共同で開催を行う。 各自治会の事業計画を把握し、他自治会の行事にも参加できるようにする。（おしゃべり喫茶、絵手紙、川柳など興味のある事業） 担い手を回覧などで募集する。	新しい担い手が参加することにより人脈が増え参加者の増加につながる。 新しい担い手が出れば、その人の経験則により、新規事業などで事業のマンネリ化の解消や参加者の増加などが見込める。 共同開催することで、他自治会との交流ができ、新しい友人ができれば外出の機会が多くなる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
10	令和6年10月10日		春日	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	校区内すべての高齢者を把握することが難しい。	自治会と情報を共有する。	情報を共有することにより災害が発生した時に対応できる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	サロン以外に通いの場がない。	福祉だよりなどを活用	地域住民に広く情報がいきわたり、通いの場や活動の場の選 択ができるようになる。	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	サロン役員の方はパソコン作業が苦手で集計等も手書きでアナログであり、それを見ている若い高齢者は役員をやりたがらない。	市に提言	担い手問題の緩和	第2層協議体で検討			
11	令和7年	令和5年10月3日	菅原	活動の担い手 交流 活動の場	市に提出する報告書等が複雑で、高齢者が役員を担いづらい。	市に提言。 活動費を給付にする検討または市で取りまとめることによる担い手不足の緩和。	担い手問題の緩和。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	体操のクラブがコロナ禍で休止しているとき、参加者は各自ウォーキングに行くようになったが、体操クラブが再開しても体操に戻ってこない。	第2層協議体で取組み検討	健康寿命の延伸	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	老々介護世帯が増えてきているが、公共財がうまく使われていない。	第2層協議体で取組み検討	健康寿命の延伸	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	通いの場・活動の場の情報伝達の継続が困難	福祉だよりなどを活用	地域住民に広く情報がいきわたり、通いの場や活動の場の選 択ができるようになる。	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	外に出るきっかけが少ない。	第2層協議体で取組み検討	健康寿命の延伸	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	年々活動が減少しており、集会所の活動が自然消滅になる恐れがある。若い家族の入居もあるが、役員を引き受けてくれる人が少ない。	一(未記載)	一(未記載)	第2層協議体で検討			
11	令和5年10月3日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	自治会離れが進んでおり、会員のみ負担があり、未開入社は恩恵のみ受けている状況。	一(未記載)	一(未記載)	第2層協議体で検討			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	一部のスーパーには100円でコーヒーが飲めるスペースがあり、そこで色々とお話をされているが、そのような場が少ない。	中村病院グループにおいてコミュニティセンターを増設してもらう提案をしている。	孤独・孤立の解消	第2層協議体で検討			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	病院の待合スペースにコミュニティができています。そのまま場所を変えてどこかで集まって話ができるような場所がない。	中村病院グループにおいてコミュニティセンターを増設してもらう提案をしている。	孤独・孤立の解消	第2層協議体で検討			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	家族が遠方にいる高齢者世帯の支援について、地域住民等の負担が大きくなっている。	枚方市全体の地域課題であるため、第1層協議体へ提案	地域住民をはじめ、専門職等の支援関係者の負担軽減	第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	移動販売も駐車する場所がないと広がっていかない。教育委員会などと協力して小学校の一角を借りるような形でスペースを確保できないか。	枚方市全体の地域課題であるため、第1層協議体へ提案	地域包括ケアシステムの深化	第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	老人会等の予算管理をもう少し簡易にしてもらいたい。予算の使い道を報告しないといけないので管理が大変。報告の必要がない給付としてもらいたい。	枚方市全体の地域課題であるため、第1層協議体へ提案	担い手問題の軽減	第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	いすプロジェクトについて、椅子を私有地に設置する事になっているが、基本的に私有地に侵入することは不法侵入になるのではないかと。私有地に侵入することを了承することができないと広まりにくいのではないかと。	枚方市全体の地域課題であるため、第1層協議体へ提案	地域包括ケアシステムの深化	第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	高齢者を支援してあげないといけないという視点が多い。高齢者が自発的に情報を取得できるようにしていく視点も必要。失敗を恐れていたなら何も発展しないと思われる。	枚方市全体の地域課題であるため、第1層協議体へ提案	高齢者の自立支援	第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		菅原	活動の担い手 交流 活動の場	多世代交流の時の高齢者の反応はとても良いが、そのような機会が少ない。	包括が実習を受け入れた際に、可能な限りマッチングを行う。また、地域の学校とのより緊密なネットワークを構築していく。	地域共生社会の実現	第2層協議体で検討			
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	任期を迎えても交代する人がいないため、継続して何年も同じメンバーが担い手となっている。（担い手の高齢化）	定年を迎えた第2の就職先として役員を担ってもらう働きかけ。	担い手問題の緩和。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和7年	令和6年	菅原	活動の担い手 交流	役員をしたくないとの理由から自治会脱会の意見もある。就労年齢が高くなってきているため、仕事で忙しく役員ができないとの声も多い。	定年を迎えた第2の就職先として役員を担ってもらう働きかけ。 ボランティアという仕組みでは難しい時代になっているとともに、地域のことは地域で見ると丸投げされても難しいため、国や府、市が主体となり報酬を発生させる取り組みが必要。	担い手問題の緩和。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	居場所の活動がマンネリ化してる。	他校区等の活動を参考にする。	活動の充実。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	サロンを開いても通うことが大変。	より身近な場所での活動の検討。移動手段の検討。	参加しやすい通いの場。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	自治会で行事をしても参加者がいない。	他校区等の活動を参考にする。	活動の充実。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	特に集合住宅は横のつながりが希薄になっている。若いうちから交流が大事であることを伝えていく方法が難しい。	他校区等の活動を参考にする。	活動の充実。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和6年		菅原	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場 その他（移動）	地域住民がどのような居場所やイベントなどを求めているかの把握ができていない。	他校区等の活動を参考にする。	活動の充実。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和7年		菅原	活動の担い手 交流	役員をボランティアという立場で担うことの限界。	ボランティアという仕組みでは難しい時代になっているとともに、地域のことは地域で見ると丸投げされても難しいため、国や府、市が主体となり報酬を発生させる取り組みが必要。	担い手不足に対する新しい取り組みによりにな手不足が緩和される。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和7年		菅原	活動の担い手 交流	府営住宅に外国人居住者や障がい者グループホームが増加しているが言葉が通じない事や施設であることを理由に自治会の役を担ってもらえず、一部の住民に負担が偏っている。	ボランティアという仕組みでは難しい時代になっているとともに、地域のことは地域で見ると丸投げされても難しいため、国や府、市が主体となり報酬を発生させる取り組みが必要。	担い手不足に対する新しい取り組みによりにな手不足が緩和される。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和7年		菅原	活動の担い手 交流	地域行事で映画や動画視聴したくても著作権などで制限がある。	他校区での取り組みを参考にしてもらう。	地域行事等の内容の幅が広がり利用者満足度の向上が期待される。	第2層協議体で検討 第1層協議体へ提案			
11	令和5年10月3日		西長尾	情報の共有	新任者の元気づくり地域づくり会議の活動などについての理解が不十分。	コミュニティ会議などの各種会議などで繰り返し周知を行う。	新たなアイデアなどの発掘ができ活動に幅を持たせることができる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み 第1層協議体へ提案			
11	令和6年4月1日		西長尾	情報の共有	地域包括支援センターの存在を知らない地域住民が多い。	コミュニティ会議等の各種会議等や季刊誌で繰り返し周知を行う。また、自治会・グループ単位などでの出前講座を積極的に提案する。	地域包括支援センターという相談窓口を多くの方知ってもらうことで、相談しやすく、また元気高齢者の増加を加速させる。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
12	令和7年4月10日	令和6年10月10日 令和5年10月4日 令和5年3月31日	田口山	情報の共有 活動の担い手 交流 活動の場	ボランティアの高齢化に伴う人材不足。 参加しやすい活動を検討。 新しい取り組みを検討、実施。	活動の周知強化して興味を持ってもらえるようにする。	料理や子ども好きの人達が少し手伝っていただけるようになってきた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
12	令和7年4月10日		田口山	情報の共有 交流 活動の場	交流の場作り	地域内清掃で交流の場。 幼、小、中学校周辺や山田池公園などで清掃を兼ねた交流の場。	一(未記載)	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
12	令和7年3月27日	令和6年9月30日 令和6年4月1日 令和5年9月30日 令和5年3月31日 令和4年9月30日 令和4年3月31日 令和3年9月30日 令和2年3月31日	藤阪	活動の担い手 交流 活動の場	元気かい！藤阪で「ひらかた元氣くらわんか体操」に取り組んでいるが、参加メンバーが固定傾向である。 自主活動への移行に対し、担い手不足の問題がある。	2か所の公園での「ひらかた元氣くらわんか体操」の活動が自主グループでの活動に繋がるよう、事務局と本会議にて相談。 元気かい！藤阪の会議や公園での体操の機会に、健康などに関するチラシ配布の情報提供を行う。 参加者のモチベーションの維持につながるよう1年毎に握力測定会を実施。握力の変化を実感していただくほか、結果シートには認知症の気づきチェックリストも掲載し、セルフチェックとして活用いただく。 自治会の協力を得て、体操の開催日時のチラシ・ポスターを配布し周知活動を行う。 ポッチャを体力づくりなどに活かせないか会議後に体験検討する。	校区内で毎週1回地域の健康づくりや交流の場の提供に向け取り組み始めた。市から紹介を受けて健康リーダーとのパイプが作れた。 公園の体操参加者から、体操後にそのまま帰るのがもったいない、他にも何かできないかといった、活動に関して前向きな意見をいただく。 校区福祉委員会と社協が協力し、ポッチャの貸出や審判を担うことで、高齢者だけではなく、小学生など広い世代の活用につながる。 校区内で地域の健康づくりや交流の場の提供に向け包括の伴走支援から、有志による自主活動へ移行することになった。 校区福祉委員会ではメンバーを募り社協のポッチャ大会に参加し、介護予防に取り組めた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み	ポッチャを取り入れ、校区内の各団体から体験利用はあったが2回目以降の利用が少ない。	公園で開催する「ひらかた元氣くらわんか体操」の参加者を増やしメンバーが固定化しないよう、広報周知活動のほか、今後も新しい取り組みを検討する。	
12	令和7年3月27日	令和6年9月30日 令和6年4月1日 令和5年9月30日	藤阪	活動の担い手 交流 活動の場	新型コロナウイルス感染症予防に伴う活動制限や自粛により、体力や認機能の低下、うつ予防などへの積極的な取り組みが必要。	感染症に注意しながら現在のサロンや老人会の活動を継続。 2か所の公園での「ひらかた元氣くらわんか体操」の活動が自主グループでの活動に繋がるよう、引き続き個別に相談。 元気かい！藤阪で、ポッチャや認知症カフェ、居場所でのポイント付与などの活動を報告し、参加メンバーによる周知の協力を依頼。	感染拡大防止に努めながら、各老人会やサロンなどでの取組みの様子を情報共有することで、各々の活動を継続する事ができる。 校区内で週1回、地域の健康づくりや交流の場の提供に取り組む。 各老人会やサロン、居場所等での取組みの様子を情報共有することで、各々活動を継続することができた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			

圏域	提出日（最新）	計上歴	小学校区	課題区分	課題	提案	効果	今後の方向性	結果	取組内容	備考
12	令和7年3月27日	令和6年9月30日 令和6年4月1日 令和5年9月30日	藤阪	活動の担い手 交流 活動の場	認知症に関する相談が増え、認知症になっても安心して過ごせる地域づくりに取り組む必要がある。	認知症ステップアップ講座の開催を検討。 認知症事例に関する困りごとを会議内で共有し、課題に対する取り組みを検討。 元気かい！藤阪の会議や体操の機会に、オレンジカフェの情報提供を行う。 校区福祉委員会、訪問介護事業所に参加協力のもと、認知症サポーター養成講座を開催。	認知症サポーター養成講座を受けていない方が多くいたことがわかった。 認知症カフェを開催し、元気かいメンバーも含め、認知症サポーターなど多数参加頂け、地域の誰もが気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場となった。 認知症サポーター養成講座には参加定員以上の参加申し込みがあり、校区内で認知症に関する関心の高さがうかがえた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み		認知症が気になり始めた方やご家族に対して、地域住民、専門職など地域の誰もが気軽に集い、仲間づくりや情報交換するなど圏域内で新たに認知症カフェの企画開催へつながった。	各団体に協力を仰ぎ、認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催や認知症カフェの周知に取り組む。
12	令和6年9月30日	令和6年4月1日	藤阪	活動の担い手 交流 活動の場	ポッチャを取り入れ、校区内の各団体から体験利用はあったが、2回目以降の利用が少ない。	ポッチャを通じ、参加活動が維持できるよう大会への参加や大きなイベントを通じて住民へ各団体から周知する。 元気かい！藤阪で、ポッチャや認知症カフェ、居場所でのポイント付与などの活動を報告し、参加メンバーによる周知の協力を依頼。	校区福祉委員会ではポッチャを、老人会ではモルックとそれぞれのツールで介護予防に取り組めた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
12	令和7年3月27日	令和6年9月30日	藤阪	活動の担い手 交流 活動の場	外出中に座って休憩する場所がない。椅子を設置する場所もない。	第1層協議体で報告された他の第2層協議体での取り組みを紹介（椅子プロジェクト）し、活動の参考にしていただく。 第2層協議体とりくみ発表会で報告された他圏域の椅子プロジェクトへの活動を紹介し、活動の参考にしていただく。	参加メンバーの居宅介護支援事業所や街かどデイハウスが椅子プロジェクトに取り組み、椅子を設置。 他圏域での椅子プロジェクトについて参加メンバーへ情報提供し活動の輪が広がるよう周知をはかれた。	第2層協議体で検討 第2層協議体で取組み			
13	令和7年	令和6年10月1日 令和5年10月2日 令和5年3月31日 令和4年9月30日 令和4年3月31日	津田南	活動の場	コロナによる感染予防のため、地域の集まりが縮小されている。医療機関の状況を考えると仕方ないことだが、その結果、自宅で過ごす時間が長くなり、身体を動かす機会が減り筋力が低下し介護が必要な状態になる可能性が高い。 ・買い物難民等	津田南校区コミュニティ協議会会長を中心に、全地区に同好会を立ち上げる。（元気で長生き健康体操・withコロナ） 内容：ノルディックエクササイズ「みんなでいっしょ」だけでなく「一人でも」できる運動。 ・ウエルシア薬局移動販売の利用。	令和4年2月から開始 津田南、津田山手に同好会を作ることができた。残りの自治会長等も積極的に教室の体験や開催に向けて準備を進めている。 令和4年3～5月にかけて、春日園、春日団地、野村、津田南、リーデンス、津田山手自治会で順次始動。津田駅前、春日は検討中。くにみ坂はほかの活動を取り入れている状況。 「ひらかた夢かなえるエクササイズ」をきっかけに、地域住民が自発的に介護予防に取り組む習慣を身につけることができた。 津田南町全自治会に介護予防教室を立ち上げた。 ※令和6年5月より春日「ひらかた夢かなえるエクササイズ」をきっかけに、地域住民が自発的に介護予防に取り組む習慣を身につけることができた。 ・令和6年3月より、春日園・春日団地・津田山手住宅・津田南町2ヶ所、春日自2ヶ所。 ※令和6年5月より、利用開始。	第2層協議体で取組み	済		
13	令和7年	令和6年10月1日 令和5年10月2日 令和5年3月31日	津田南	活動の担い手 交流 活動の場	地域に住む高齢者の認知症の早期発見や相談、支援制度について	地域で守り支え合う認知症支援について、既存のノルディックポールエクササイズ教室を使い、認知症についての講座と脳機能チェック、支援制度の案内を行う『脳も体もイキイキと』を提案する。また、認知症すごろくの体験会の実施をする。 令和6年度から年1回の骨密度測定会、体力測定会（認知症テスト含む）を実施。	一(未記載)	第2層協議体で取組み			
13	令和7年4月1日	令和6年10月1日	津田	情報の共有 活動の場	「ほっこりクラブ津田」・福寿会の居場所を地域の皆さんに周知する。また、介護、医療サービス事業所にご協力いただき活動内容の充実を図る。	・地域住民向けのアンケート作成や周知活動を充実し地域にチラシ等を配る。 ・ほっこり新聞再開9月9日発行。	・地域高齢者（一人暮らし含む）の参加が増える。	第2層協議体で取組み			
13	令和7年4月1日	令和6年10月1日	津田	情報の共有 活動の場	年内にひらかた夢かなえるエクササイズを体験する。追記：認知症カフェの内容の充実も同時に行い、認知症すごろくも展開していく。	・令和5年12月より、ほっこりクラブ津田にて、ひらかた元気くらわんか体操を開始。	一(未記載)	第2層協議体で取組み			
13	令和7年4月1日	令和6年10月1日	津田	情報の共有 活動の場	買い物難民等について。	・ウエルシア薬局移動販売の利用。	一(未記載)	第2層協議体で取組み			
13	令和7年4月1日		津田	情報の共有 活動の場	健康管理（測定会の必要）	・体力測定、骨密度測定、筋力測定会、栄養講座、認知症講座、その他（特殊詐欺）	・年一回の測定会、講座で健康を管理。	第2層協議体で取組み			
13	令和6年4月		氷室	情報の共有 活動の場 その他（ ）	・氷室校区では、健康で長生きを目標に活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染症蔓延予防のために、自粛を余儀なくされ、地域高齢者の健康状態が心配される。また、感染症が治まった後の活動再開への準備に向けた取り組みが必要。 ・コロナで休止していたが、5月以降は、全地区再開している。	活動継続に向けて、夢かなえるエクササイズによるノルディック健康体操を、老人会や各地区の公民館や自治会館にて活動始めていく。 ・包括東香会の指導により、再開している。今後も活動の拡大と対象者を増やすよう企画している。 ・コロナ明けには、3区4自治会に拡大し活動を開始している。 ・夢かなえるエクササイズについては、全地区で開催できた。	外出（人と話す）や運動の機会を増やすことで、身体や認知機能が衰弱していく「フレイル」予防が行える。	第2層協議体で取組み			